

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 会津若松市立川南小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒969-6189

福島県会津若松市北会津町小松490-2

E-mail kawanami-e@fcs.ed.jp

Website https://aizuwakamatsu.mylocal.jp/school?sid=22735086&info=base

幼児児童生徒数 男子 72名 女子 62名 合計 134名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校では、小松彼岸獅子継承活動ならびに緑の少年団を中心とした環境緑化活動、栽培活動を通しての交流活動を実施している。本校の総合的な学習の時間では、統一テーマを「環境」として、この3つを柱とした環境教育に重点をおいた学習活動を行っている。

これらを通して、子ども達に地球規模で課題をとらえ解決するための学び方や思考力・判断力・実践力を身につけさせ、問題解決や探究活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、社会の担い手をはぐくむ持続発展教育(ESD)を実現していきたいと考える。

そして、自分たちを取り巻く地域文化や環境についての考察を深め、伝統や文化を尊重しそれらを育ててきた郷土を愛し、持続可能な地域・社会づくりと環境保全のために積極的に活動に取り組む態度を養い、民主的な社会・国づくりに積極的に貢献する児童を育成することを目的とする。

①行動する～学校緑化活動

平成14年に結成された緑の少年団が中心になり、学校や地域の花壇づくり
に励んできた。近年、その活動の範囲を広げ、自分たちでプランターに育てた
花を地域の公共施設や老人ホームにプレゼントしたり、学校の敷地にあるドン
グリをからクヌギの苗を育て植林したり、ドングリを拾い、地域で保護されて
いる熊に餌として分け与えたりする活動にも取り組んでいる。

②つながる～交流活動

障がい者施設との交流を18年間にわたり続けている。低学年は、さつまい
も植えと収穫、中学年は、ラベンダーの移植や収穫、高学年は、田植えと稲刈
りを行っている。また、全校生と施設の方々とともに楽しむ「芋煮会」や高学
年児童とともにメッセージボードやお菓子づくりを楽しむ家庭科クラブの活
動、学習発表会での交流など、子ども達も施設の方との交流を楽しみにしてい
る。

③伝える～小松彼岸獅子伝承活動

戊辰戦争とも関係のある小松彼岸獅子の継承活動を平成12年から取り組
んでいる。地区内の小松彼岸獅子保存会の方々のご指導の下、主に総合的な学
習の時間にて3～6年生が、獅子舞、笛、太鼓の練習に取り組んでいる。
そして、新潟県佐渡市の小学校や老人ホームのお年寄りとの交流、各地区の集
会所巡りや祭礼、市の音楽祭など年に6回ほど獅子舞を披露している。



①行動する～学校花壇整備～



②つながる～自然に親しむ会



③伝える～彼岸獅子練習～



③伝える～ホタル祭り発表～

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特になし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校の活動の柱となる「行動する～学校緑化活動」「つながる～交流活動」「伝える～小松彼岸獅子伝承活動」の3つの活動は、総合的な学習の時間を通して活動を進めている。本年度は、この活動に関わる指導計画を見直し、子ども達一人ひとりにより「自ら学び、自ら考える力を育む」授業を展開するための話し合いの場を持った。子ども達一人ひとり余裕を持った活動が展開されるよう授業時数を見直したり、他教科とのつながりを洗い出し、教師一人ひとりがさらに横断的・総合的な学習を意識して授業を進めたりできよう指導計画の改善を図った。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

本校の校務分掌の中に、E S D担当が位置づけられている。計画に沿った活動が確実に展開できるように、各学年に指示を出したり、外部団体との連絡調整を進めたりしている。諸活動についても反省をし、次年度に生かすための会議も年度末に実施している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

「行動する～学校緑化活動」「つながる～交流活動」「伝える～小松彼岸獅子継承活動」の3つの柱で学習を進めるE S D教育は、本校の大きな特色となっている。年度末に保護者、児童、教職員を対象に諸活動についてのアンケートを実施した。その結果、特色あるその学習活動に高評価をいただいた。今後、新学習指導要領が始まる際に、時数の確保、内容の充実が大きな課題となる。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

本校の学習活動の様子を会津若松市で運営しているスマートフォンに対応した情報配信アプリケーション「あいづっこ+」より配信している。一日およそ200名ほどの閲覧者数があり、多くの方に特色ある本校の活動を知ってもらう手段となっている。また、学校便りにおいても、ESD教育への取組を掲載し、地区内を回覧。活動を知ってもらうことにより、本校の教育に関心をもってもらおうよう工夫している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)
※チェック事項 2-3 に対応

特になし

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)
※チェック事項 2-4 に対応

特になし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本校の活動は、どの活動も地域との関係が深く、歴史が長い。子ども達は、自分の住む地域の伝統や文化を尊重し、それらを育んできた郷土に誇りを持っている。また、自分たちは、地域の方々に支えられているという意識が強く、地域やお世話になっている方々への挨拶はもちろん、コミュニケーションを積極的にとろうとする姿が見られる。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

次年度も3つの柱「行動する～学校緑化活動」「つながる～交流活動」「伝える～小松彼岸獅子継承活動」を中心に活動を進めて行く。

① 「行動する～学校緑化活動」

6月と11月には、季節の花を学校花壇に植える。また、夏花壇整備の際には、プランターでも花を育て、大きく育った頃、地域の施設へプレゼントに行く。森林学習では、ドングリから育てた苗木を山へ植樹に行ったり、集めたドングリを地域で保護されている熊にプレゼントしたりする活動も継続して行う。

② 「つながる～交流活動」

精神障がい者施設「ほっとハウスやすらぎ」の方との栽培活動を年間を通して行う。低学年はさつまいも、中学年はラベンダー、高学年は、米を育てながら、交流を深めていく。また、そのほかに秋の「芋煮会」や物づくりを共に行うクラブ活動も引き続き実施する。

③ 「伝える～小松彼岸獅子継承活動」

小松彼岸獅子保存会の方々の指導を受け、年間を通して、笛、太鼓、踊りに分かれて、獅子舞の練習を行う。地区の祭りや、地区巡り・老人ホーム慰問や市の音楽祭など年6回程度、その成果を発表する。